


2020年度 災害対応マネジメントセンター活動報告

報告期間：2020年4月～2021年3月

1. 国や宮城県等の行政組織、自衛隊等の外部組織による訓練・研修会への参画

1) 訓練・研修会

(1) 「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練
⇒コロナ禍の為、規模縮小、行政職員のみで実施
(2) 大規模地震時医療活動訓練
⇒コロナ禍の為、規模縮小、開催地北海道のため不参加
(3) 宮城県9.1 総合防災訓練
⇒コロナ禍の為、中止
(4) 東北ブロックDMAT 参集訓練
⇒コロナ禍の為、中止
(5) 宮城県国民保護共同机上訓練
⇒コロナ禍の為、中止
(6) 仙台空港航空機事故対処図上訓練
開催日時：2021/1/21 訓練会場：仙台空港 実施主体：仙台空港緊急計画連絡協議会 訓練参加機関：名取市医師会、岩沼市医師会、仙台市医師会、亘理郡医師会、日本赤十字社宮城県支部、宮城県保健福祉部医療政策課、名取市消防本部、あぶくま消防本部、仙台市消防局、仙台国際空港株式会社、仙台市立病院、仙台医療センター、東北大学病院、石巻赤十字病院、仙台赤十字病院、東北労災病院 訓練参加人数：32名 協議内容：令和元年に実施した仙台空港航空機事故対処図上訓練（航空機が着陸に失敗し多数の傷病者が発生し、機内から救助された乗客は救護所にて処置を実施、後方医療機関に搬送される）の振り返りと、課題についての対応、課題解決に向けて協議 成果：消防とDMATチームのタグNO.やベッド番号に対する認識の違い、消防とDMATの情報共有の在り方や方法、ホワイトボードへの共有等の課題が明らかとなった。書式は消防のものも活用しつつ、事前に準備することも検討する。赤エリアは重症度が高く、情報量も多いため混乱が生じやすく、指揮命令系統が崩れやすい。情報の集約、集計方法、通信手段についても、両者の認識の相違をお互いが理解し、マニュアルに落とし込んで、共通理解としていくことが重要であることが共有された。


2) 宮城県からの委託事業

(1) 宮城県災害医療技能研修【仙台市医師会館】
⇒コロナ禍の為、中止
(2) 宮城県医療救護活動従事者研修会
⇒コロナ禍の為、中止

3) 会議

(1) 令和2年度宮城DMAT連絡協議会実務調整WG	会議出席：3名
<p>開催日時：第1回：8/7 開催場所：宮城県庁行政庁舎+WEB 実施主体：宮城県保健福祉部医療政策課 参加機関：宮城県保健福祉部医療政策課、仙台市立病院、仙台医療センター、東北大学病院、東北医科薬科大学病院、石巻赤十字病院、東北労災病院、大崎市民病院、登米市民病院、みやぎ県南中核病院 参加人数：11名+オブザーバー7名 協議内容：コロナ禍における災害時の活動及びチームの派遣等について、各種訓練、各種研修会、宮城県ロジ部会の通信訓練、R2年東北ブロックDMAT参集訓練について 成果：宮城県におけるコロナ禍での災害対応やDMAT活動についての方向性、具体的な活動計画を進捗させることができた</p>	
(2) 令和2年度災害拠点病院連絡会議・宮城DMAT連絡協議会合同会議	会議出席：2名
<p>開催日時：2/2 開催場所：宮城県庁+WEB 実施主体：宮城県保健福祉部医療政策課 参加機関：宮城県保健福祉部医療政策課、県内全災害拠点病院 参加人数：災害拠点病院関係者26名+行政職員7名 協議内容：宮城県における保健医療調整本部体制、第7次宮城県地域医療計画の中間見直し、大規模災害時医療救護活動マニュアルの改訂、災害拠点病院の訓練実施状況、宮城DMAT連絡協議会実務調整WGの取組報告、令和3年度東北ブロックDMAT参集訓練、東京2020オリンピック・パラリンピック、東北自動車道における事故報告 成果：宮城県におけるコロナ禍対応も含んだ、災害医療体制の構築と今後の方向性について情報共有及び意見交換ができた</p>	
(3) 東北ブロックDMAT連絡協議会	
⇒コロナ禍の為、中止	
(4) 国民保護共同図上訓練会議	
⇒コロナ禍の為、中止	
(5) 自衛隊 令和2年度危機対策連絡会およびみちのくALERT第2回会議	会議出席：1名
<p>開催日時・会場：9/2 陸上自衛隊仙台駐屯地 開催主体：陸上自衛隊東北方面総監部 参加機関：自治体、関係機関の危機管理（防災・国民保護）関係職員：内閣官房、地方公共団体、指定地方行政機関、指定公共機関、指定地方公共。医療機関（日本赤十字宮城県支部、石巻赤十字病院、東北大学病院、東北労災病院、仙台医療センター）、その他の関係機関 参加人数：221名 内容：全体会議にて、「WITH コロナの災害対応」の講演後、令和元年度の東日本大風に伴う災害派遣や、自治体や関係機関から、災害対応の整備に関わることについて、情報提供があった。医療分科会では、令和2年度の担当者挨拶等実施と「みちのくALERT2019」の訓練における振り返り、及び改善案の提示があった。 成果：東日本台風に伴う振り返りや、2019年度のみちのくALERT2019、コロナ禍の医療対応について自衛隊と情報共有、検討を行うことができた。</p>	

2. 院内活動

1) 院内訓練・研修会

(1) 東北大学病院総合防災訓練 企画運営担当：2名

開催日時：10/23

訓練会場：東4階第5会議室+WEBMTG

実施主体：災害対策委員会

参加者：病院長、副病院長、看護部長、総合地域医療教育支援部教授、高度救命救急センター長、薬剤部長、診療技術部門長、栄養管理室長、事務部長、事務部各課・室長（総務課、経営管理課、経理課、医事課、施設企画室、医療情報室）、研究推進室、感染管理室、災害科学国際研究所、災害対応マネジメントセンター、広報室

参加人数：27人

主な協議内容：

- 1) コロナ禍における災害対策本部のレイアウト
- 2) 参集人員の初動体制
- 3) 病院長の所在
- 4) 災害時の情報共有ツール
- 5) その他：コロナ禍での対応

主な協議結果：

- 1) 企画係より提示されたレイアウトで初動対応を行う
- 2) 情報が集まり、活動の方針が決まるまでは、暫定で作成した本部レイアウトに従い、本部参集人員については特に制約をかけず、感染拡大に配慮しながら初動対応にあたる。
- 3) 病院長は災害対策本部設置時は、災害対策本部に常時在室する。
- 4) 病院として使用可能な情報共有ツールを事前に把握、作動を確認しておき、災害時に備える
- 5) ・救命対応は、コロナ対応より優先されるべきである。

・コロナ禍で災害が発生することを前提とした訓練の実施が必要

成果：病院幹部クラスを集めて、コロナ禍における災害対策本部の在り方について検討した初めての機会であった。参加者より、活発な意見が聞かれた。BCP 的にも非常に有意義な協議がなされ、病院の本部機能の強化につながった。



(2) BCP 講演会 企画運営担当：2名

⇒コロナ禍の為、実施せず

2) 各種委員会活動

(1) 災害対策委員会 企画運営担当：4名	
開催日： 第1回：5/27（メール審議）、第2回：7/13（メール審議）、第3回：10/2（Web形式）、第4回：1/15（対面）、第5回：3/23（Web）	
議題等： 第1回：委員会構成員紹介、令和2年度予算、総合防災訓練の実施体制、除染エリア検討WGについて 第2回：構成員の修正、総合防災訓練実施要項について 第3回：総合防災訓練実施形態の変更、委員会活動方針について 第4回：令和2年度当初予算について、総合防災訓練報告、WGからの報告、アシスト入力訓練報告、DMAT定例会報告 第5回：2/13福島県沖地震の報告、令和3年度の総合防災訓練、WG活動報告、アシスト入力訓練報告、DMAT定例報告 コロナ禍における総合防災訓練についての協議、災害対策マニュアル・外来部門マニュアル・災害対策本部マニュアルの要改定部分の審議、予算、非常食の備蓄、等について検討がなされた。 ※災害対策委員会には、下記WG・部会が紐づいており、災害対応マネジメントセンターは各WG・部会と連携して活動を行っている。	
マニュアル改訂WG 企画運営担当：4名	
開催日： コロナ禍の為、未開催	
総合防災訓練WG 企画運営担当：4名	
開催日： コロナ禍の為、未開催。 ※訓練の方向性についてMLにて配信し、周知。	
情報収集WG 企画運営担当：4名	
開催日： 4/15（外部業者委託についてMTG） 毎月第1金曜日のアシスト入力訓練 議題等： 外部委託に向けた具体的な調整、打ち合わせを実施。実際に外部委託後は、施設企画室にてアシスト入力訓練の定期的な報告を実施している。	
外来防災部会 企画運営担当（アドバイザー）：2名	
開催日： 毎月第4水曜日開催（コロナ禍のため、11月から再開。11/5、12/3、1/7、2/4、3/4） 議題等： 外来防災におけるアドバイザーの立場で、外来支部の運用や、外来全体の初動対応についての検討を行った。－昨年の外来全体で参加した実動訓練の振り返りで出た課題と、新設部門（帰宅困難者、帰棟困難者、臨時処置室）における対応、ライフライン途絶時の非常用トイレの設置と運用、外来支部の所掌範囲、災害対策本部との検討事項のすみわけ等について検討を行った。	
本部WG 企画運営担当：3名	
開催日： 8/18、11/26、1/4 議題等： コロナ禍における災害対策本部の在り方、本部のレイアウトについて検討。訓練前の災害対策委員会で、訓練形態・検討の方向性について承認を得、参加者の調整、検討項目についてリストアップを行い、10/23総合防災訓練を実施。訓練実施後は、訓練で決定した事項や、課題として残った事項を整理し、課題解決に向けて検討を進めている。	
CBRNEWG 企画運営担当：3名	
開催日： コロナ禍のため開催せず	
CBRNEコアWG	
開催日： 4/17、6/2、9/4、10/9、10/23 議題等： 昨年の総合防災訓練における除染対応エリア（スクリーニング、除染前トリアージ、除染エリア、急変対応エリア）の課題について、各エリア毎に、関する課題解決に向け、対応を検討した。 具体的には、人員配置、役割の明確化、動線の検討、物品の整備、私物管理方法等について検討を行い、アクションカード、マニュアルに落とすべく、具体的を検討中。	

(2) 緊急被ばく医療専門委員会 企画運営担当：3名

開催日：コロナ禍の為、各種訓練も中止となり、委員会も開催せず

その他の活動：

原子力災害拠点病院に支給される原子力災害拠点病院の物品の選定、調整。特に今年度は、医療搬送用救急車の選定、車両内のME機器も含めた装備の選定等を行った。また、納品された備品の整備を実施した。



実務調整WG 企画担当 企画運営担当：2名

開催日：コロナ禍の為、未実施

原子力災害医療対応マニュアル作成WG 企画運営担当：2名

開催日：コロナ禍の為、未実施

(3) BCP委員会 BCP事務局員：2名

開催日：毎月第3水曜日（※ドライブスルー対応の為、参加不定期）

議題等：新規BCP作成部門（病棟BCP）の策定サポート、進捗共有、第3版に向けた各部門への依頼・進捗確認、第3版の改訂。

緊急設備点検の訓練実施と報告、2月・3月の地震における実動報告等。

BCP事務局会議 BCP事務局員:2名

開催日：毎月1～2回開催。（※ドライブスルー対応の為、参加不定期）

議題等：コロナBCPについての情報共有、BCP改定作業やタイムスケジュールについての情報共有や新規BCP作成部門へのサポート、既存のBCPにおける「実施すべき事前対策」における進捗確認と整理、帰宅困難者の災害対応備品の検討、緊急設備点検訓練と実災害における実施報告と今後の課題についての検討

3) DMAT活動

(1) DMAT定例会 企画運営担当：4名

開催日：毎月第2金曜日（※コロナ禍の為、不定期開催）

7/10資料配信、8/14WEB会議、10/9資料配信、11/12WEB会議、1/8WEB会議、2/12WEB会議、3/12資料配信

議題等：コロナ禍における災害発生時のDMATの対応、例年実施している各種訓練・研修会等の募集・中止状況、近年の災害に関する情報共有や、厚生労働省より発出される通知文の共有、ドライブスルーにおける対応状況についての情報共有、緊急連絡網のアップデート、DMAT隊員が参加した会議や研修会の報告、DMAT医療資機材の整備状況等について情報共有を実施。

(2) 災害関連業務調整会議 毎月第2・第4木曜日 企画運営担当：4名

開催日：コロナ禍の為、不定期開催。2/25のみ実施

※DMAT隊員が院内外の災害関連業務を行うために業務として認めていただいた活動時間

実施内容：災害倉庫の整備

(3) 宮城県DMATロジ部会通信訓練 企画運営担当：3名

開催日：第1回：9/24、第2回：12/16、第3回：3/16

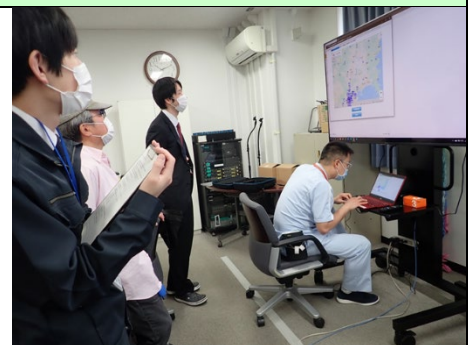
※3カ月に1回実施

議題等：1.EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練：

幹事病院は訓練実施日にEMISにより本部業務から本部活動記録・体制管理の入力を行う。その他病院は、EMISにより目的地を幹事病院とし出動DMAT登録を行う。

2.衛星携帯電話通信訓練：幹事病院からリレー方式で通信訓練を実施。

3.MCA無線通信訓練：幹事病院は個別発信によりリレー方式で通信訓練を実施。



4.材料部の入力訓練：EMIS の詳細入力のその他に、滅菌機器の稼働状況について入力を行う。

4) 実動

(1) 東北大学診療所ドライブスルー型新型コロナウイルス感染症検査外来対応

経緯：2020/4/13 宮城県知事より東北大学病院に対し、宮城県補助事業として、PCR 検査を実施するためのドライブスルー方式の帰国者・接触者外来の開設を依頼される。
2020/4/15 新たに「東北大学診療所」（診療所長：石井正）を設置、同診療所において検査外来を実施するフレームとし、同外来開設準備開始。



開始日：2020年4月21日より開始

開催期間：2020年4月21日～本日まで

診療日：平日毎日（第三土曜日含む）

検査予約：完全予約制

検査方法：原則乗用車に乗ったまま（バス、バイク、自転車、徒歩等イレギュラーあり）

検査時間：2分半程度

開催回数：230回（2021/3月末日）

スタッフ数：平均11.5名/日（のべ2640名）

検査人数：平均36.6名/日（のべ8426名）

災マネスタッフ参加回数：（2021/3月末日）

石井正教授:145回、藤田基生助教：57回、阿部助手：157回、今井技術職員：127回

災マネ業務：①会場の環境整備 ②検査動線管理・人員配置検討 ③資機材準備 ④感染関連物品の対応
⑤行政との調整 ⑥協カスタッフの活動調整 ⑦事務局体制の構築 ⑧事務局業務フロー整備
⑨当日の検査業務現場リーダー・安全管理等 ⑩日々のML配信による情報共有

(2) 2月13日福島県沖地震（宮城県内最大震度6弱、仙台市震度5強）

発生日時：2021年2月13日（土）23時08分頃宮城県と福島県で最大震度6強を観測する地震が発生

実施内容：暫定災害対策本部（被害情報収集対応）設置・運営

1) 本部立ち上げ：テレビ接続、内線電話接続、アシスト用PC・EMIS入力用PC立ち上げ

2) クロノロ記載

3) 情報収集：被害状況（アシスト・被害状況報告等）、ライフラインの状況把握（電気、ガス、水道、EV等）、緊急設備点検状況の進捗状況把握、他医療機関の状況確認

4) 情報発信：EMIS入力

実施結果：

1) 病棟の被害状況は夜勤師長およびアシストにより情報収集

2) 緊急設備点検を実施。水道・ガスは緊急遮断あり。

先進医療棟以外のEV全機停止。外来のガス停止。

3) 0:25 一旦暫定本部解散。その後、水道の遮断弁解除、非常用EV復旧、調理場のガス復旧し、外来のガスも復旧対応開始。

4) 5:17 第5会議室撤収

成果：院内の被害状況の把握、復旧までの対応は適切に運用できた。初動対応におけるハードの課題が多々見つけた。暫定災害対策本部の立ち上げ、被害状況報告の収集、情報発信方法等について検討が必要。



(3) 3月20日宮城県沖地震（宮城県内最大震度5強、仙台市震度5弱）

発生日時：2021年3月20日（土）18時09分頃宮城県で最大震度5強を観測する地震が発生

実施内容：暫定災害対策本部設置・運営

- 1) 本部立ち上げ
- 2) クロノロ記載
- 3) 情報収集
- 4) 情報発信 ※2/13と同様に実施

実施結果：

- 1) 病棟の被害状況は夜勤師長およびアシストにより情報収集
- 2) 緊急設備点検を実施。前回より院内の被害は軽微。
- 3) 19:20 暫定災害対策本部解散。
その後EVの復旧確認作業継続。
20:45 EV復旧のめどが立ち、撤収。
- 4) 成果：前回、2/13に課題であった事象は一部対応済みだったが、暫定災害対策本部構成員や設置基準、設置フロー、情報発信方法などを整理し、災害対策マニュアルに盛り込む必要がある。

